

平成 26 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における茨田中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 26 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・ 茨田中学校では、2 年生 269 名

3 調査内容

- (1) 児童生徒に対する調査
 - ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）

中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）
 - イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童・生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 茨 田 中 学 校

生徒数

269名

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	31.70	29.92	40.15	51.45		86.33	8.19	191.09	19.79	41.67
大阪市	29.42	27.25	40.64	50.72	406.21	83.32	8.13	188.65	20.44	40.47
全国	29.00	27.45	42.92	51.31	392.89	85.29	8.03	193.43	20.86	41.74
女子	25.81	22.81	42.73	43.06		55.08	9.05	157.30	11.24	45.73
大阪市	23.98	22.69	43.59	45.42	302.75	56.63	9.01	163.40	12.82	47.51
全国	23.70	23.07	45.23	45.63	290.64	57.77	8.87	166.53	12.88	48.66

結果の概要

男子の調査結果から判断すると、握力、上体起こし、反復横とび、20mシャトルランの種目においては、全国平均値を2ポイントほど上回ることができた。また、体力合計点でも全国平均並みであった。女子の調査結果では、握力が全国平均値を上回ることができた。他の種目に関しては、男女とも全国平均値を下回り、特に女子の体力合計点においては、3ポイントほど低い結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

校内体力テストを全学年で実施することで、生徒一人ひとりの現状把握に努めた。学年・男女の種目別に差が出てくるので、教員間の共通理解を図りつつ取り組み方の改善が必要である。

体育委員を中心に毎時間行っている補強運動を充実させることで、全国平均値を上回る種目と下回る種目が結果として現れている。今後の授業で全国平均値を下回る種目に対し、指導内容等を具体化し、強化をすすめる必要がある。

また、学校行事・学年行事等のマラソン大会や球技大会の取り組みを実施して、持久力や瞬発力や遠投力の強化につなげていく教育活動を計画推進する。

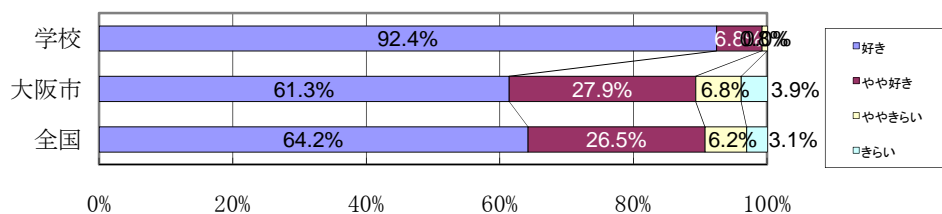
運動・スポーツに対する興味・関心を高めるために、トップアスリートによる「夢・授業」の取り組みを積極的に取り入れ、一流選手のスポーツを生で観る機会を設けることにより、体力増進の活性化をすすめる。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

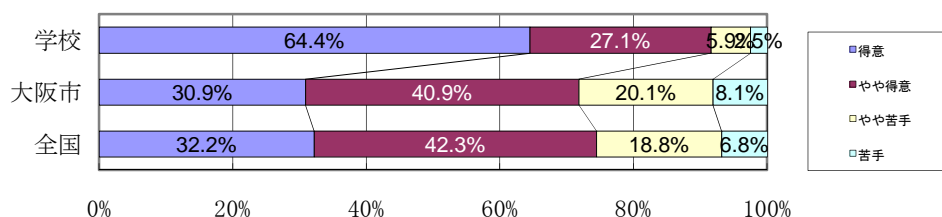
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



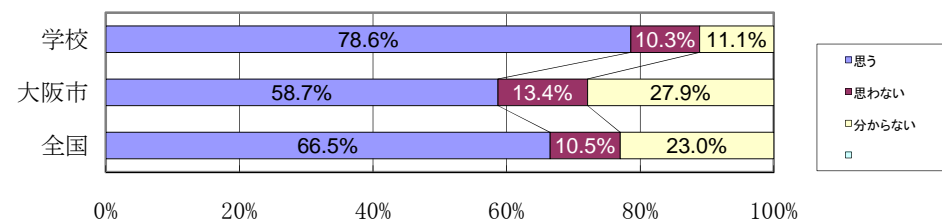
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



3

中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいとおもいますか



成果と課題

運動やスポーツが好き・やや好きと答えた割合が、99.2%と非常に高い。
得意やや得意と答えた割合が、91.5%で、指導内容の工夫の成果があらわれている。
「自主的にスポーツする。」においては、約80%であり、生涯スポーツを見据えた指導や取り組みが求められる。

今後の取組

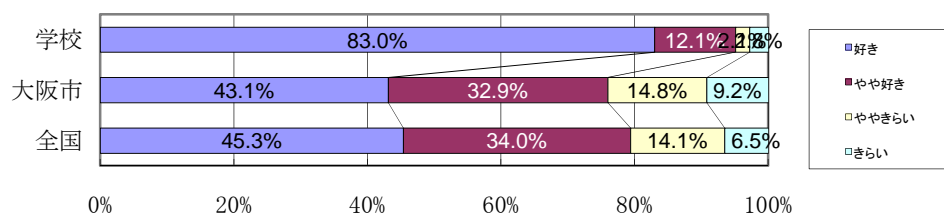
生涯スポーツを見据え、スポーツすることのみならず、仲間との触れあいや体力づくり、施設・整備の使用マナーやルール工夫も含めた指導が必要がある。

運動やスポーツについて（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

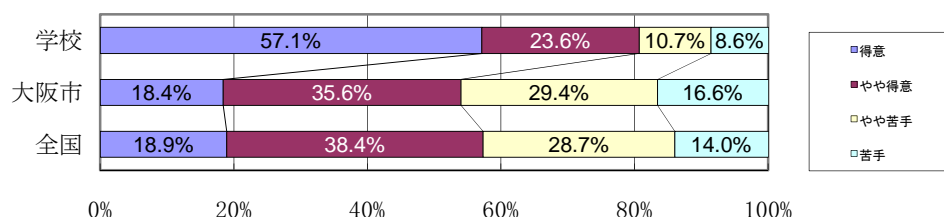
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



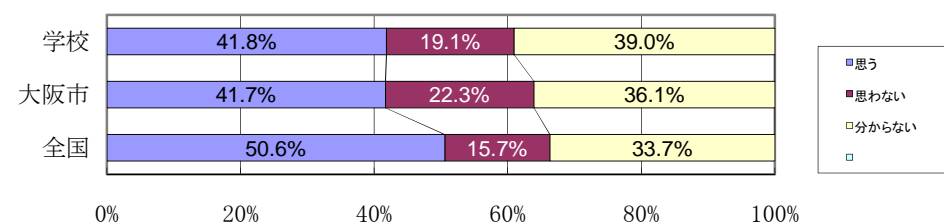
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



3

中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいとおもいますか



成果と課題

運動やスポーツが好き・やや好きと答えた割合が、95.1%と高いが、得意やや得意と答えた割合が、80%程度であるため、「得意である。」と言い切れる自信へとつなげていく指導内容の工夫が必要である。

「自主的にスポーツする。」においては、男子より大幅に低く、改善の余地がある。

今後の取組

男子同様、生涯スポーツを見据えた取り組みが必要である。

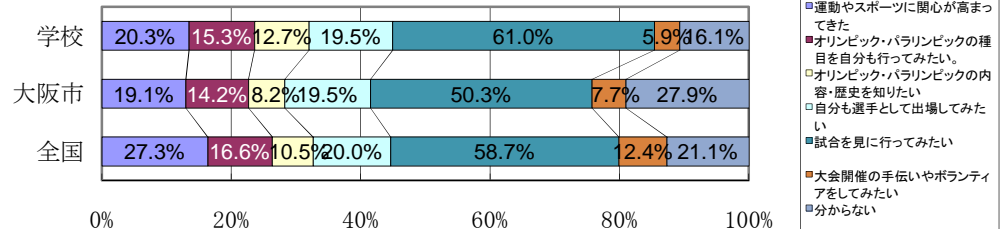
体育教員間で授業内容や生徒たちの情報交換を交えながら、スポーツ行事の充実や運動技術者の招聘を念頭に置きながら、生徒の自主性を引き出し、意欲的な体育・スポーツに取り組める活動を推進していく。

学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツについて（男）

質問番号	質問事項
------	------

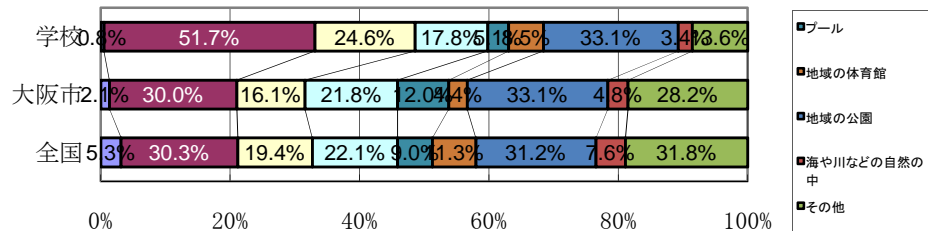
10

オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



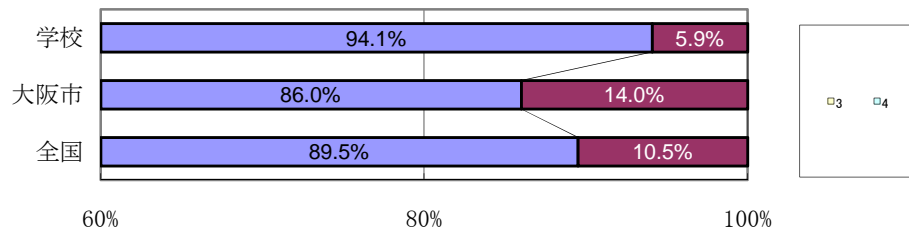
5

放課後や学校が休みの日に、どのような場所で運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



7

中学校1・2年生のときの春・夏・冬休み、ゴールデンウィークのような学校が長い休みの期間に、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを行いましたか。



成果と課題

学校の校庭やグラウンドでの活動を合わせると76.3%。
部活動が盛んで、加入率も高い。
休日も校庭や体育館は、朝から一日中活動している。そのためオリンピックの歴史や見て知りたいといった数値はやや高い。

今後の取組

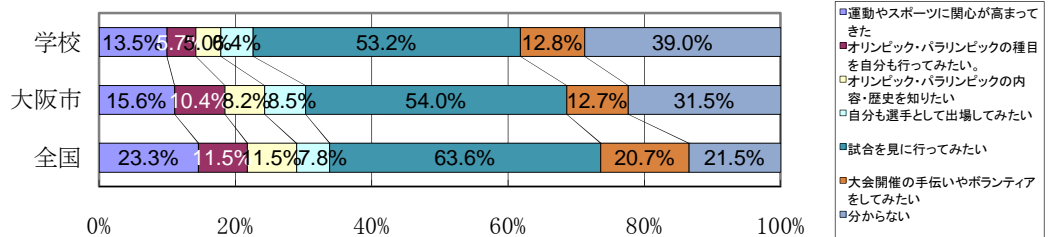
オリンピック等の試合を見たいとの回答者は、61%と他と比較して高いが、参加意欲やボランティア精神の向上面での数値は低いため、このような意識を高揚していく取り組みを推進する必要がある。

学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツについて（女子）

質問番号 質問事項

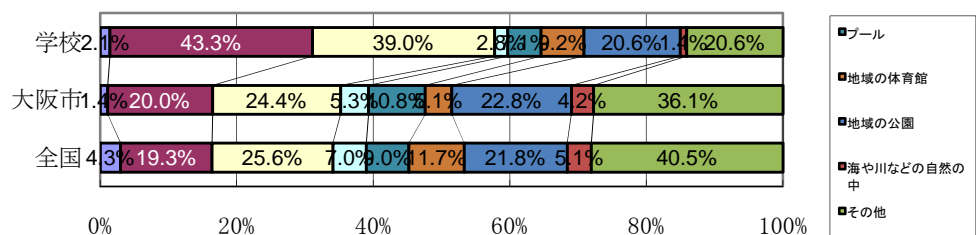
10

オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



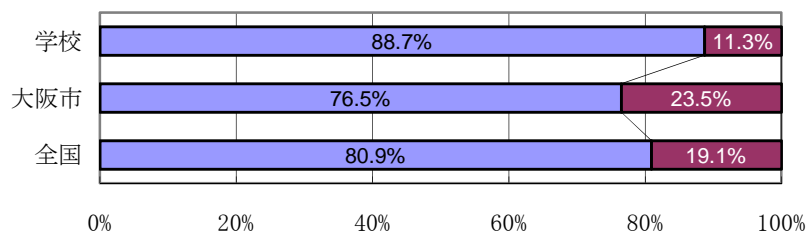
5

放課後や学校が休みの日に、どのような場所で運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



7

中学校1・2年生のときの春・夏・冬休み、ゴールデンウィークのような学校が長い休みの期間に、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを行いましたか。



成果と課題

男子と比較すると、学校での運動部加入率が高い。長期休業中も運動部での活動が盛んで、88.7%の回答であった。オリンピック・パラリンピックの質問項目においては、関心が低く分からないとの回答が多いが、自ら体を動かすことに意識が高い。あらゆる競技への関心を持たせる工夫を考える必要がある。

今後の取組

教育活動の中にオリンピック・パラリンピックの歴史や内容についての学習を取り入れる必要がある。

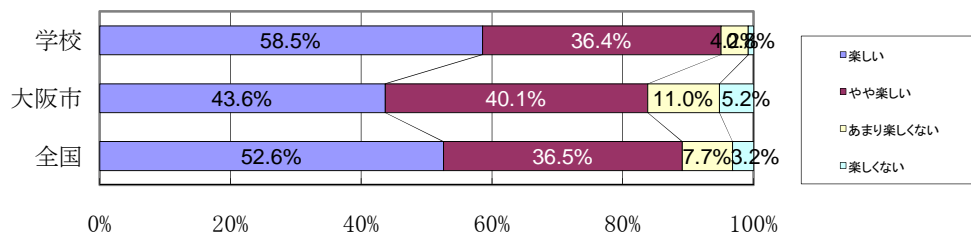
保健体育の授業について（男子）

質問
番号

質問事項

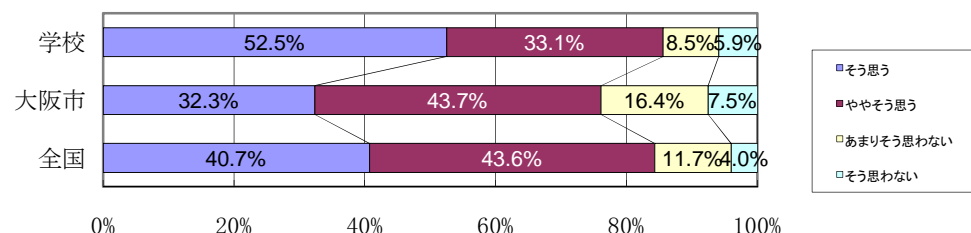
11

保健体育の授業は楽しい
ですか。



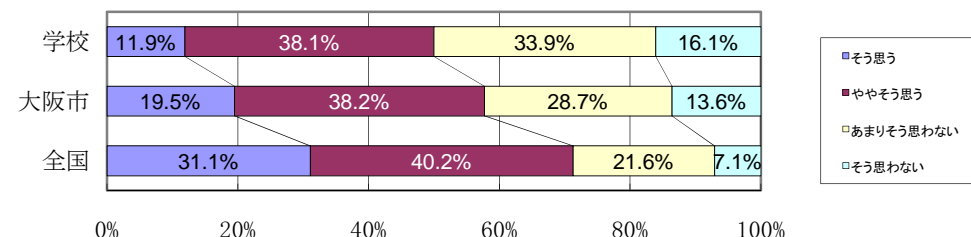
21

ふだんの保健体育の授業
では、授業のはじめに授業
の目標（めあて・ねらい）が
示されていると思います
か。



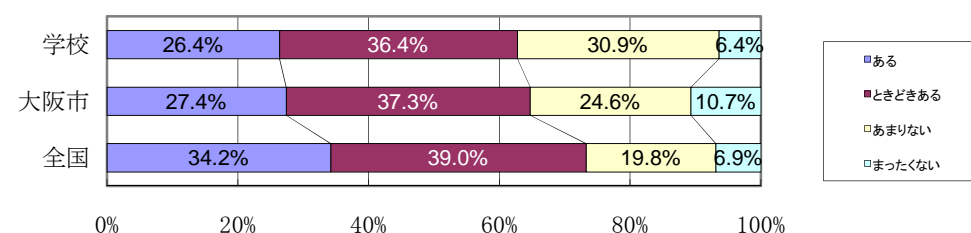
22

ふだんの保健体育の授業
では、授業の最後に今日
学んだ内容を振り返る活動
を行っていると思います
か。



23

保健の授業で学んだからだのこ
とや健康のことを、体育実技の授業
や放課後に運動（体を動かす遊
びを含む）やスポーツを行う時に
思い出したり、実際に使うことはあ
りますか。



成果と課題

体育委員を中心に、自分たちの意識を高めながら活動できているため、楽しい、やや楽しいの割合が高い。しかし、授業での学習の振り返りをもっと行う必要がある。

今後の取組

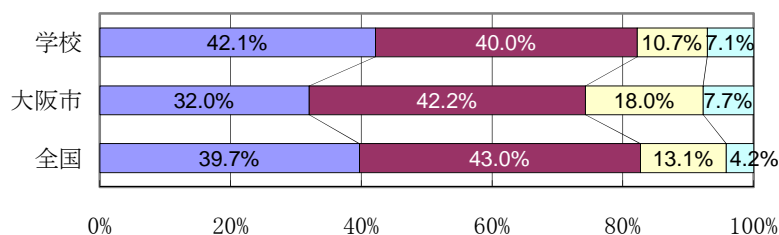
目標が示されていることに比べ、振り返りの割合が低いため、活動後の振り返りやグループミーティングなどを充実させる必要がある。また、保健の授業と体育の授業をうまくリンクさせるように努める。

保健体育の授業について（女子）

質問
番号 質問事項

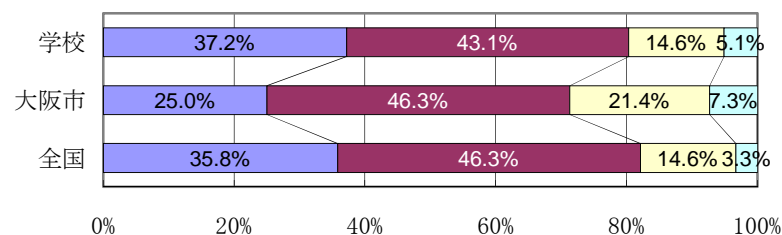
11

保健体育の授業は楽しい
ですか。



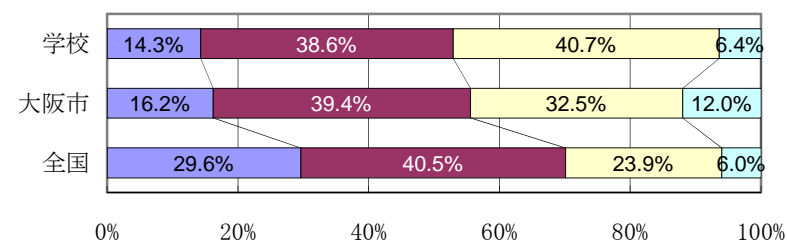
21

ふだんの保健体育の授業
では、授業のはじめに授業
の目標（めあて・ねらい）が
示されていると思いますか。



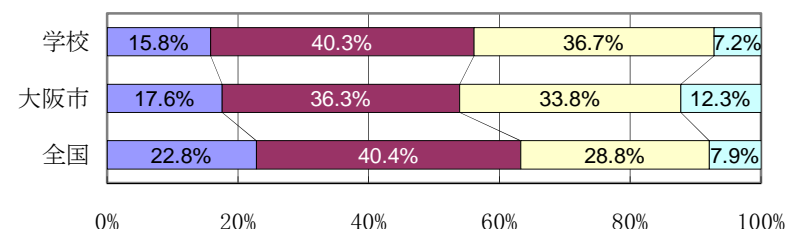
22

ふだんの保健体育の授業
では、授業の最後に今日
学んだ内容を振り返る活動
を行っていると思いますか。



23

保健の授業で学んだからだのこと
や健康のことを、体育実技の授業
や放課後に運動（体を動かす遊
びを含む）やスポーツを行う時に
思い出したり、実際に使うことはあ
りますか。



成果と課題

男子と同様に、体育委員を中心に、自分たちの意識を高めながら活動できているため、楽しい、やや楽しいの割合が高い。授業での学習の振り返りも、深めていく必要がある。

今後の取組

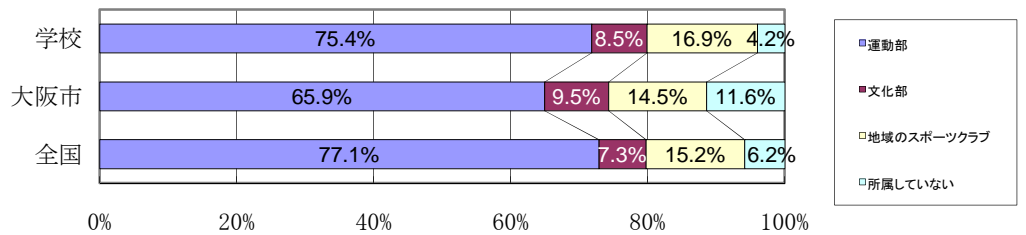
女子も目標が示されていることに比べ、振り返りの割合が低い。活動後の振り返りやグループミーティングなどの充実が必要である。保健の授業と体育の授業のリンクも大切であるため、充実させていく。

部活動等のことについて（男子）

質問番号 質問事項

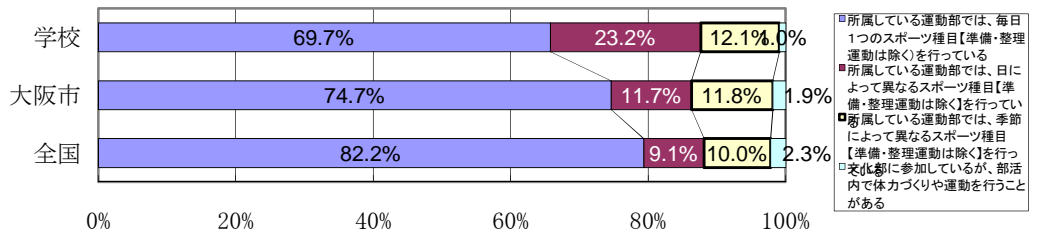
24

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。あてはまるものすべて選んでください。



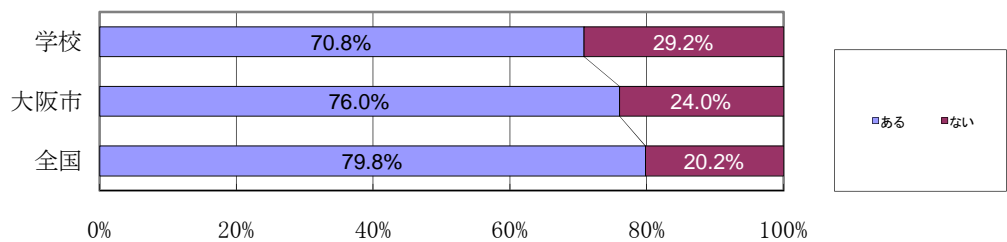
25

質問24で「運動部」「文化部」と答えた人は、活動内容にあてはまるものをすべて選んでください。



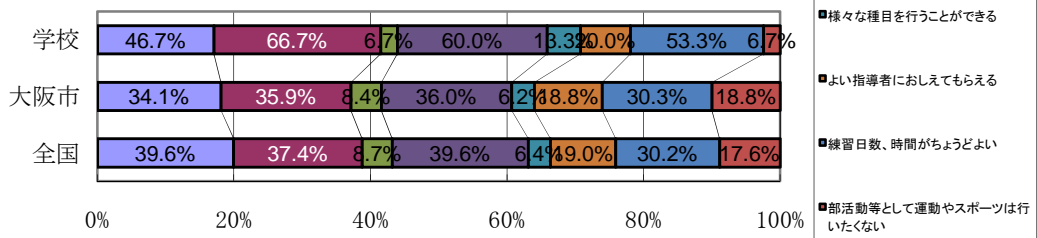
26

質問24で「運動部」と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生や指導者と話し合ったりする機会がありますか。



27

質問24で「文化部」「所属していない」と答えた人（運動部や地域のスポーツクラブに所属していない）は、どのような条件があれば、運動部に参加したいと思いますか。



成果と課題

所属していない割合が低く、何かしら取り組む姿勢は、形成されている。日によって、異なる種目も多く、多方面での活躍が見られる。
生徒主体や自分のペース、友達と楽しむのがいいという割合が高いが、その反面、そういう要素を欠いているという実態がうかがえる。

今後の取組

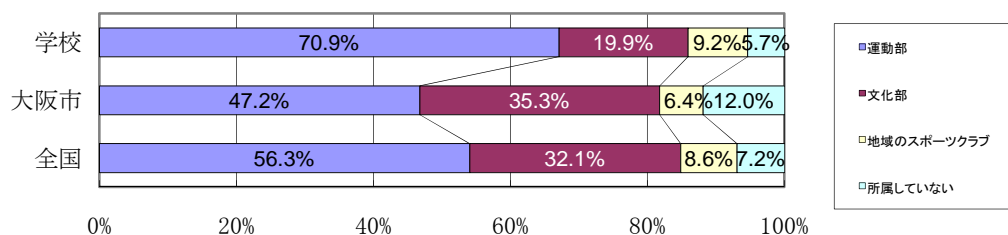
部活動の活性化、学校・学年行事の充実、トップアスリート「夢・授業」への参加を通して、運動能力の向上に取り組んでいく。
退部者を減らす取り組みの推進も必要である。

部活動等のことについて（女子）

質問
番号 質問事項

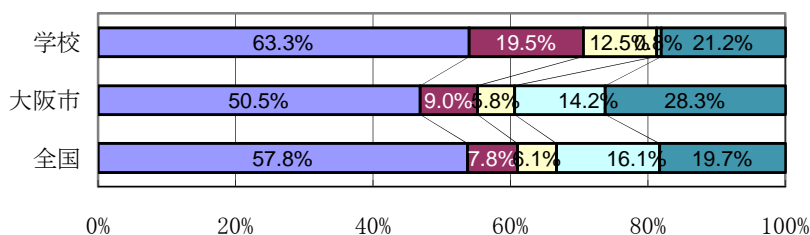
24

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。あてはまるものすべてを選んでください。



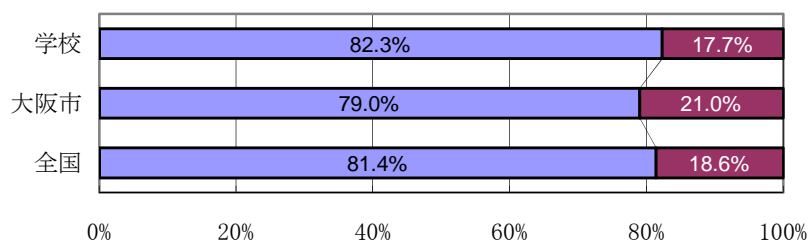
25

質問24で「運動部」「文化部」と答えた人は、活動内容にあてはまるものをすべてを選んでください。



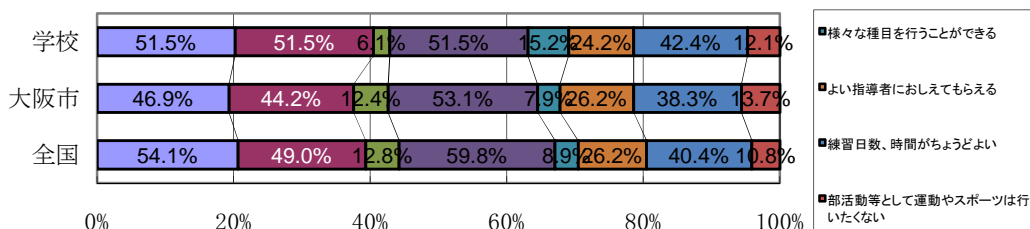
26

質問24で「運動部」と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生や指導者と話し合ったりする機会がありますか。



27

質問24で「文化部」「所属していない」と答えた人（運動部や地域のスポーツクラブに所属していない）は、どのような条件があれば、運動部に参加したいと思いますか。



成果と課題

男子と同様、所属していない割合が低く、何かしら取り組む姿勢は、形成されている。日によって、異なる種目も多く、多方面での活躍が見られる。
女子も、生徒主体や自分のペース、友達と楽しむのがいいという割合が高いが、その反面、そういう要素を欠いているという実態がうかがえる。

今後の取組

部活動の活性化、学校・学年行事の充実、トップアスリート「夢・授業」への参加を通して、運動能力の向上に取り組んでいく。
退部者を減らす取り組みの推進も必要である。